

# 草津学区防犯マップ

この地図は、大人と子どもと一緒にまちを歩き、犯罪に強いところ、犯罪に弱いところをチェックしてまとめたものです。犯罪に強いまちづくりを進めるためには、自分たちのまちに関心を持ち、まちの良いところ、犯罪に強いところをたくさん増やすことが大切です。未来を担う子どもたちが安心して暮らせるまちを目指し、犯罪のない明るいまちづくりを進めましょう。

**階段**

夜間は暗くて人通りが少ないので、一人歩きは注意しましょう。

**見通しの良い公園**

死角がなく、外から見通しがきく公園は犯行に都合が悪い場所と考えます。

**ゴミ集積所**

防犯カメラが設置してあり、ゴミの散乱も少なくきれいで、汚いと住民の関心が低く、犯行しやすい地域という印象を与えてしまいます。

**トンネル**

特に歩道は昼間でも薄暗く、夕方人は人通りが少なくなるので注意しましょう。また、大雨が降ると大きな水溜りがあるので気を付けましょう。

**掲示板**

チラシがはがれることなくきれいに管理されています。犯罪放散の掲示板では住民の関心が低く、犯行しやすいという印象を与えてしまいます。

**歩道**

夜間は暗く人通りが少ないため、一人歩きに注意しましょう。

**駐車場**

道路から奥まったところがあり、人目につきにくくなっています。夜間利用する際は注意しましょう。

**空き地**

雑草が茂り周囲から見えにくい空き地は、不審者が連れ込まれたり、隠れ場所になったりする恐れがあります。

**花だん**

きれいな花が植えられています。美しいまちづくりは地域の関心の高いことをアピールすることにつながります。犯人は住民の関心が高い地域を嫌がります。

**堤防・河川敷**

開けて見通しがきく場所ですが、夜間は暗くて人通りが少ないので、一人歩きは注意しましょう。

**公園トイレ**

トイレの中は死角になって逃げ場所がないので、利用する前に周囲に不審者がいないか確認しましょう。

**地下道**

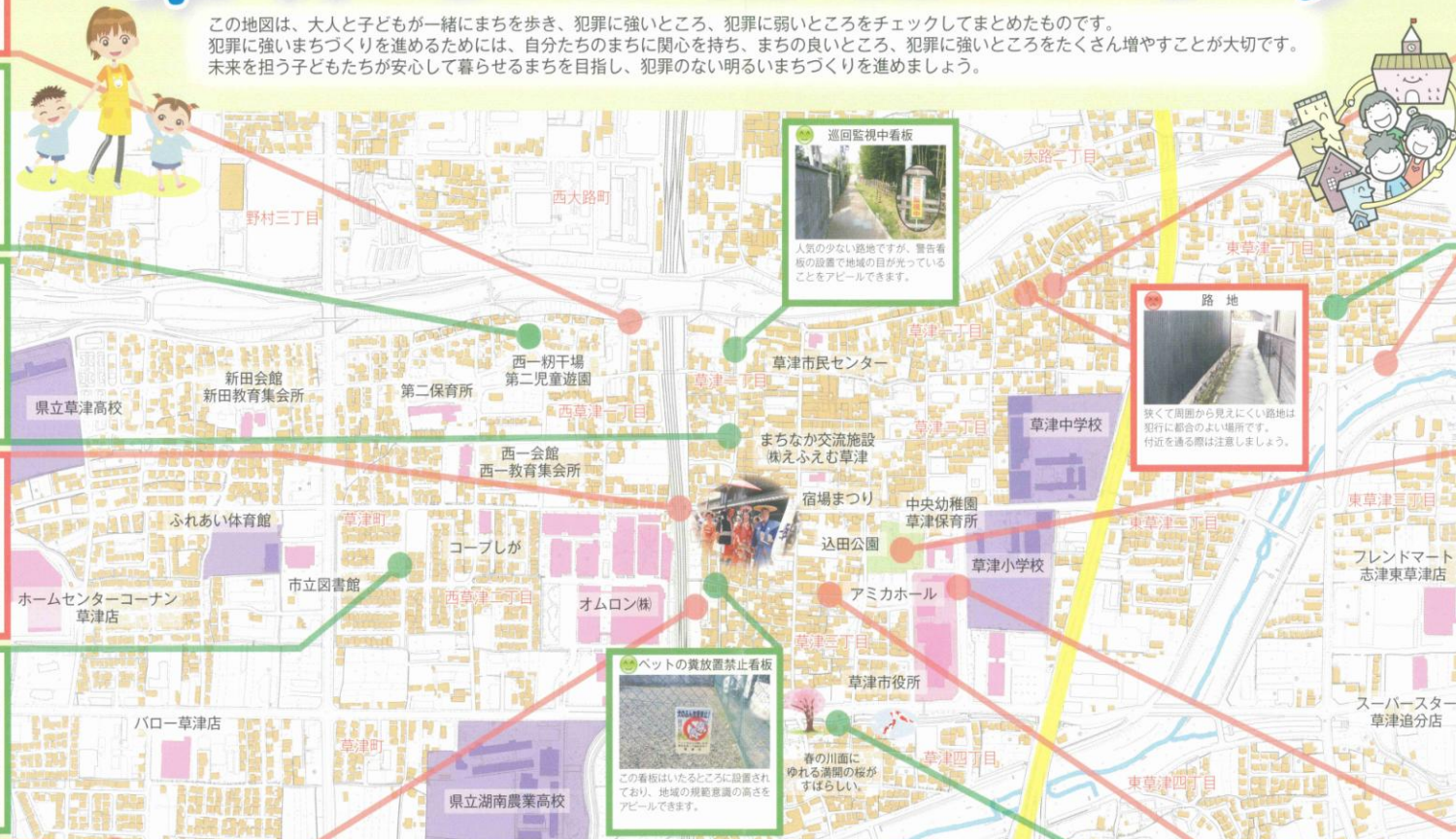
地下道は人目につきにくいので、ひたすらりや暗闇などに気をつけましょう。

**道路**

両脇は建物の壁で死角になっているので気を付けましょう。

**美しい川を守る活動**

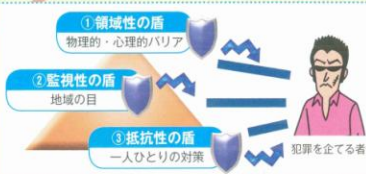
美しく、魅力あるまちづくりは犯罪のないまちづくりにつながります。犯人はきれいで住民の関心が高い地域を嫌がります。



けいけんとぼびろくんのお願い

まち歩きに出かけよう！改めてまちを歩くと、その移り変わりやイロイロな魅力を発見できるんだ。みんなでもちを歩き、まちを大好きになって、大好きなまちを守ろうね！

## 3つの盾（犯罪機会論）に基づく犯罪に強いまちづくり



「見えにくい（監視性が低い）」「入りやすい（領域性が低い）」場所は危険！

犯罪機会論とは犯罪者に犯罪の機会を与えないことによって、犯罪を未然に防止しようという考え方で、見えにくく、入りやすい場所は犯行に都合の良い場所といえます。まずはこのような場所を把握し、対策を講じることが犯罪に強いまちづくりの第一歩です。

**①領域性の盾** 犯罪者の接近を防ぐ！  
「物理的（フェンス）、心理的（地域コミュニティ）バリア」によって、犯罪者の標的への接近を防ぐ。

**②監視性の盾** 地域目を光らせる！  
目撃される可能性が高ければ、犯行を思い止まらせることができる。

**③抵抗性の盾** 一人ひとりの対策！  
犯行におよんだとしても、一人ひとりの対策によって犯行を達成させない。

作成：草津学区ひと・まちいきいき協議会、草津市